

2023年3月期 第3四半期連結業績概要 2023年3月期 通期見通しについて

専務執行役員
山西 哲司

2023年3月期 第3四半期決算のポイント

最終需要の低迷が継続する中で、自動車向けを中心としたEX需要に支えられ、前年同期比で増収増益を確保。

- 売上高は前年同期比17.5%増、営業利益は前年同期比14.5%増
- 円安が加速し業績に大きく影響
- 9か月累計ベースで売上高、営業利益は過去最高を更新

- ICT市場では、PC、タブレット、データセンター向けの需要の低迷が継続し、HDD関連部品の販売が大幅に減少。スマートフォンの生産が大きく減速も、新モデル向け二次電池、センサの販売が拡大。
- 自動車生産は緩やかに回復し、xEV化の進展による部品搭載点数の増加もあり需要は堅調に推移。受動部品、センサの販売が拡大。
- 地政学的リスクを背景としたエネルギー価格の高騰に伴い、再生可能エネルギー、省エネ関連設備、家庭用蓄電システムの需要が拡大し、中型二次電池、産業機器用電源の販売が増加。

2023年3月期 第3四半期（9か月）連結業績概要

Attracting Tomorrow



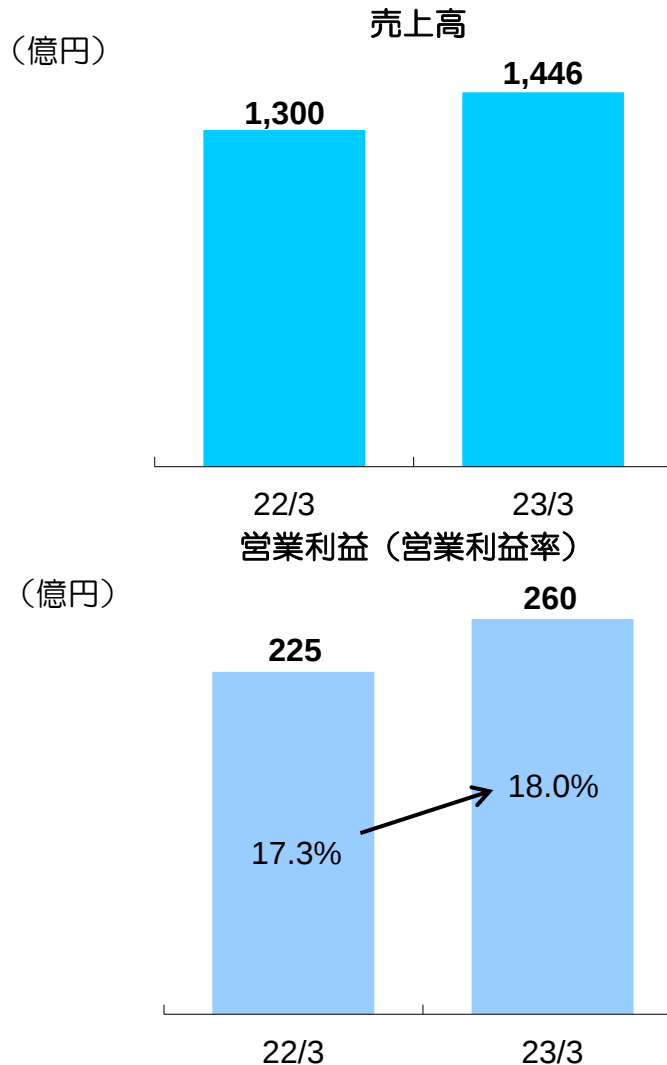
(億円)		2022年3月期 第3四半期累計実績 (2021.4.1～2021.12.31)	2023年3月期 第3四半期累計実績 (2022.4.1～2022.12.31)	前年同期比	
				増減	増減率（％）
売上高		13,939	17,090	3,151	22.6
営業利益		1,413	1,887	474	33.5
営業利益率		10.1％	11.0％	+0.9pt	-
税引前利益		1,461	1,881	420	28.7
当期利益		1,173	1,369	196	16.7
1株当たり利益（円）		309.41	361.06	-	-
為替	対ドルレート（円）	111.09	136.46	22.8％の円安 7.6％の円安	
	対ユーロレート（円）	130.59	140.54		
為替変動による 影響金額		売上高：約2,514億円の増収 営業利益：約609億円の増益			

(注) 2022年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表から、従来の米国会計基準に替えて国際財務報告基準（IFRS）を適用しています。
当資料に記載の前連結会計年度の財務数値についても、IFRSに準拠して表示しております。

2023年3月期 第3四半期（四半期） 連結業績概要

(億円)		2022年3月期 第3四半期実績	2023年3月期 第3四半期実績	前年同期比	
				増減	増減率（％）
売上高		4,997	5,870	873	17.5
営業利益		597	684	87	14.5
営業利益率		11.9%	11.6%	-0.3pt	-
税引前利益		613	682	69	11.3
当期利益		484	499	15	3.2
1株当たり利益（円）		127.70	131.64	-	-
為替	対ドルレート（円）	113.67	141.75	24.7%の円安 10.9%の円安	
	対ユーロレート（円）	130.06	144.26		
為替変動による 影響金額		売上高：約873億円の増収 営業利益：約240億円の増益			

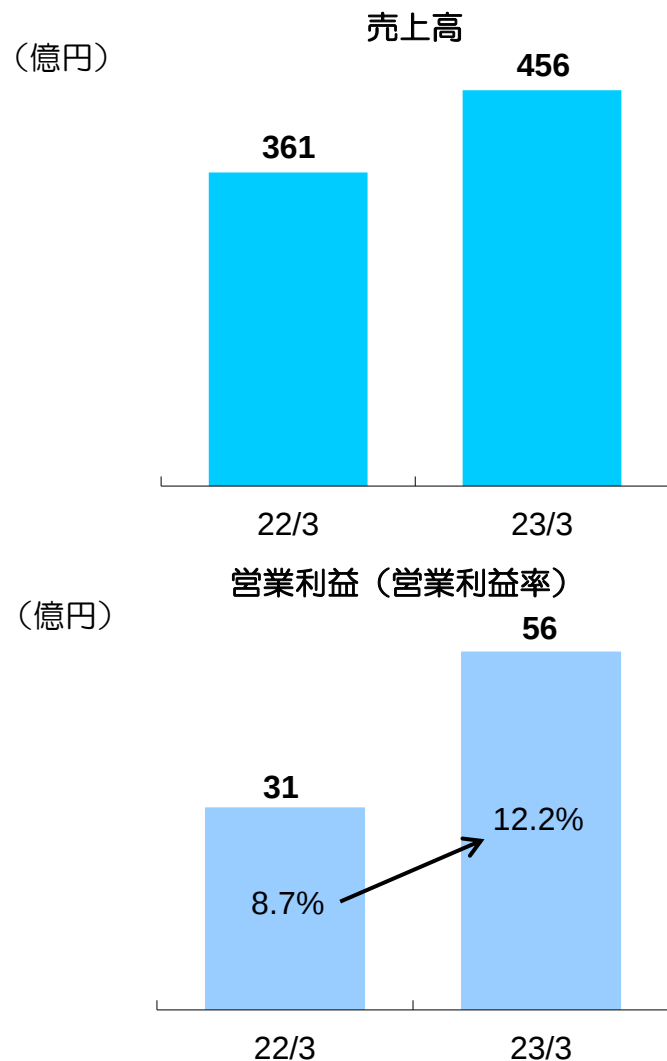
第3四半期各事業の状況（受動部品事業）



売上高 1,446億円（前年同期比11.2%増）
営業利益 260億円（前年同期比15.5%増）

- セラミックコンデンサ
 - ↳ 前年同期比で増収増益。
 - ↳ 自動車市場、主にxEV向け販売が増加。
- アルミ・フィルムコンデンサ
 - ↳ 前年同期比で増収増益。
 - ↳ 自動車市場及び産業機器市場向けフィルムコンデンサの販売が増加。
- インダクティブデバイス
 - ↳ 前年同期比で増収増益。
 - ↳ 自動車市場向け及び産業機器市場向けの販売が増加。
- 高周波部品
 - ↳ 前年同期比で減収減益。
 - ↳ ICT市場向けの販売が減少。
- 圧電材料部品・回路保護部品
 - ↳ 前年同期比で増収減益。
 - ↳ ICT向け等の販売が減少し、自動車市場向けの販売が増加。

第3四半期各事業の状況（センサ応用製品事業）

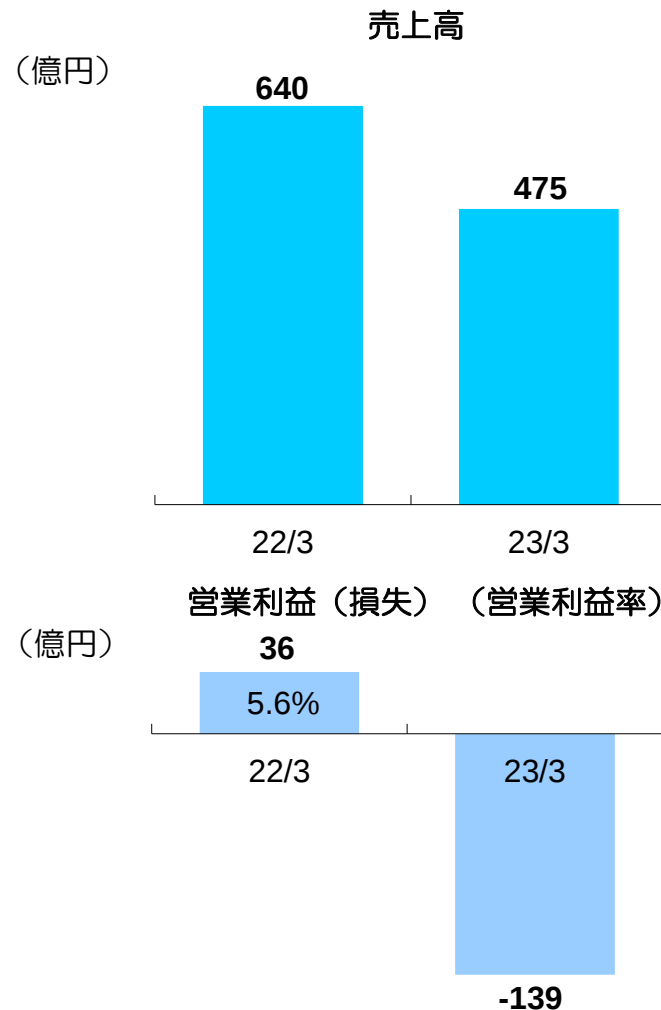


売上高 456億円（前年同期比26.3%増）
営業利益 56億円（前年同期比77.0%増）

● センサ

- 前年同期比で大幅な増収増益、営業利益率は2桁台を達成。
- 温度・圧力センサは、自動車市場向け販売が増加。
- 磁気センサは、ホールセンサの販売が自動車市場向けに加えてICT市場向けで増加、TMRセンサの販売は、ICT市場向けの採用拡大等により販売が大幅に増加し、収益も大きく拡大。
- MEMSセンサは、アプリケーションの拡大の進展で販売増。

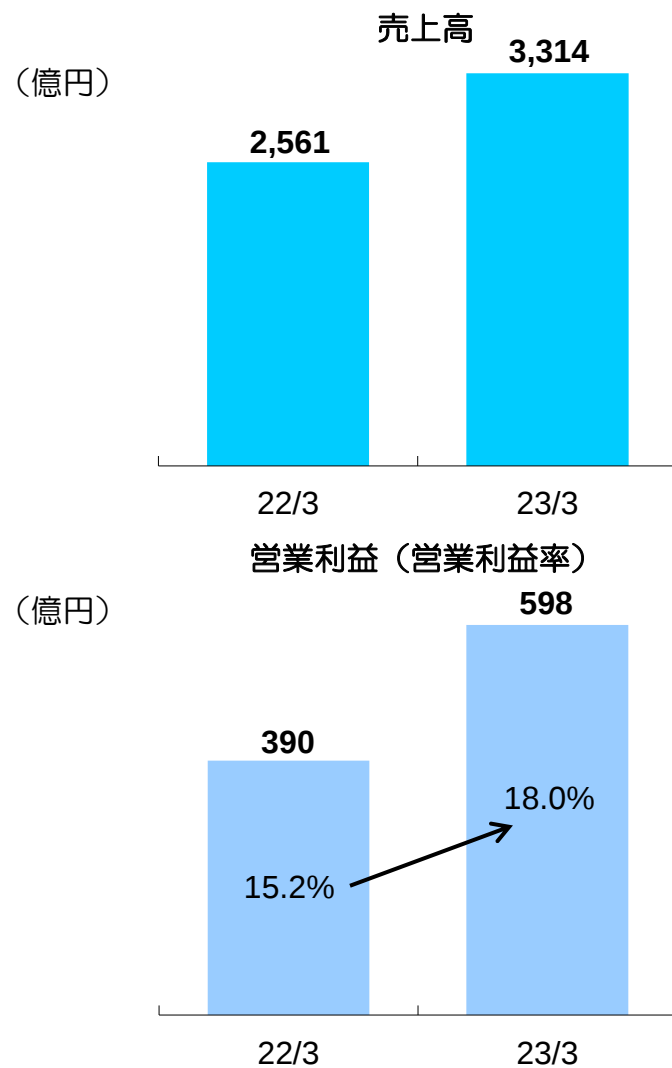
第3四半期各事業の状況（磁気応用製品事業）



売上高 475億円（前年同期比25.8%減）
営業損失 △139億円（前年同期比一%減）

- HDDヘッド・サスペンション
 - ↳ HDDヘッド及びHDDサスペンションは、PC用途及びデータセンター向け需要が急速に低迷し大幅な減収減益。
- マグネット
 - ↳ 前年同期比で増収減益。

第3四半期各事業の状況（エナジー応用製品事業）



売上高 3,314億円（前年同期比29.4%増）
営業利益 598億円（前年同期比53.4%増）

- エナジーデバイス（二次電池）
 - 前年同期比で増収増益。
 - モバイル用途（スマートフォン、タブレット、ノートPC）向け生産台数は低迷も、新モデル向け小型二次電池の販売が拡大。
 - 家庭用蓄電システムを中心とした中型二次電池の販売が拡大。
- 電源
 - 産業機器用電源は前年同期比で増収増益。

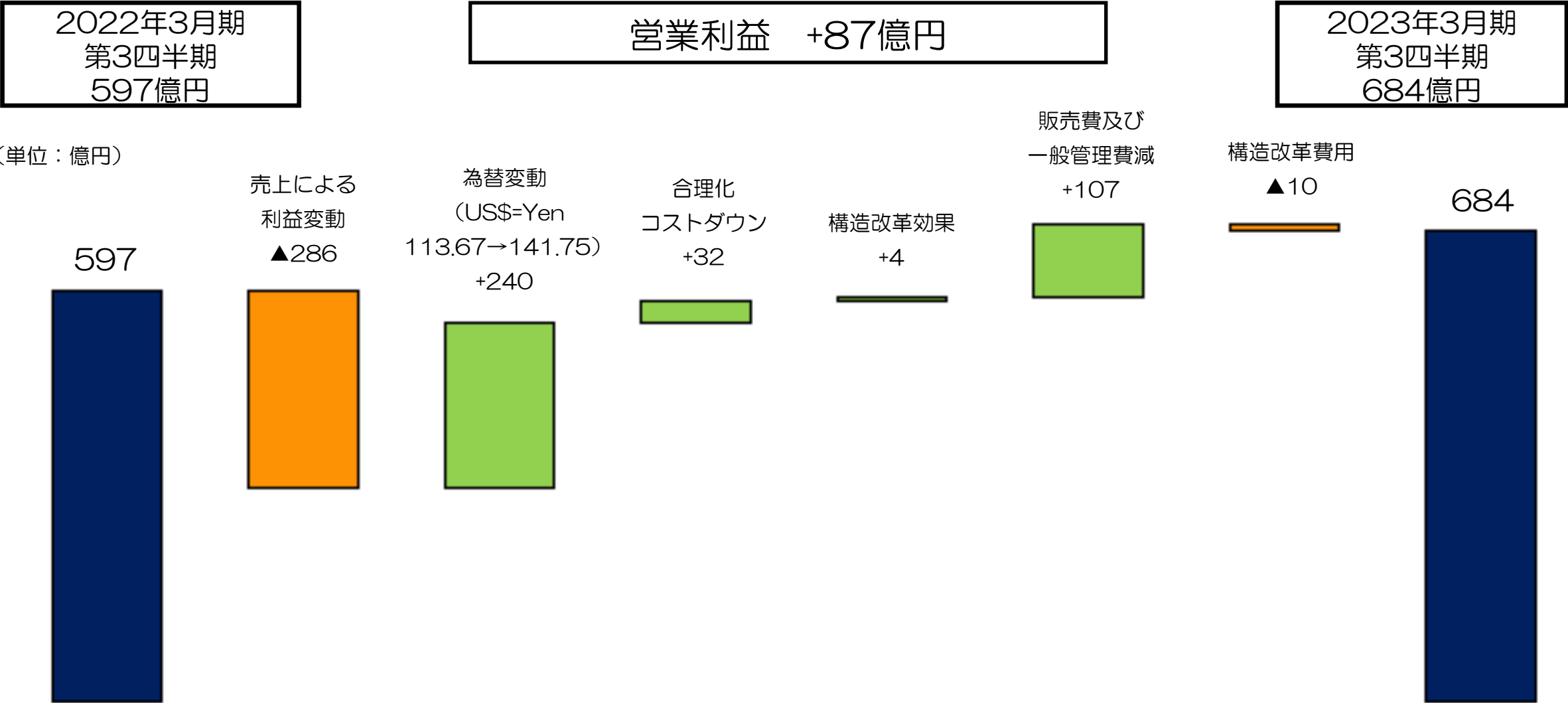
セグメント別四半期実績

Attracting Tomorrow



(億円)		2022年3月期 第3四半期 (A)	2023年3月期 第2四半期 (B)	2023年3月期 第3四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	508	629	615	107	21.1	△ 14	△ 2.2
	インダクティブデバイス	470	528	501	30	6.5	△ 27	△ 5.2
	その他受動部品	322	370	331	9	2.7	△ 39	△ 10.6
	受動部品合計	1,300	1,527	1,446	146	11.2	△ 80	△ 5.3
	センサ応用製品合計	361	459	456	95	26.3	△ 3	△ 0.6
	磁気応用製品合計	640	547	475	△ 165	△ 25.8	△ 72	△ 13.2
	エネルギー応用製品合計	2,561	3,423	3,314	753	29.4	△ 109	△ 3.2
	その他	133	159	178	45	33.4	19	11.9
	合計	4,997	6,115	5,870	873	17.5	△ 245	△ 4.0
営業利益	受動部品	225	296	260	35	15.5	△ 36	△ 12.1
	センサ応用製品	31	44	56	24	77.0	12	27.5
	磁気応用製品	36	△ 18	△ 139	△ 175	-	△ 121	-
	エネルギー応用製品	390	535	598	208	53.4	63	11.7
	その他	△ 1	△ 2	9	9	-	11	-
	小計	681	855	783	102	14.9	△ 72	△ 8.4
	全社および消去	△ 84	△ 98	△ 100	△ 15	-	△ 2	-
	合計	597	757	684	87	14.5	△ 73	△ 9.7
営業利益率		11.9%	12.4%	11.6%	-0.3pt	-	-0.8pt	-
為替	対ドルレート (円)	113.67	138.20	141.75				
	対ユーロレート (円)	130.06	139.39	144.26				

営業利益増減分析



2023年3月期 連結業績及び配当金見通し

(億円)		2022年3月期 通期実績	2023年3月期 業績予想 (2022年8月発表)	2023年3月期 業績予想 (2022年11月発表)	2023年3月期 業績予想 (2023年1月発表)	業績予想対前期比	
						増減	増減率(%)
売上高		19,021	22,000	22,200	21,700	2679	14.1
営業利益		1,668	1,850	2,000	1,850	182	10.9
営業利益率		8.8%	8.4%	9.0%	8.5%	-	-
税引前利益		1,725	1,900	2,000	1,850	125	7.3
当期利益		1,313	1,450	1,470	1,320	7	0.5
1株当たり利益(円)		346.44	382.54	390.35	348.16	-	-
配当金		中間：100円 (33.3円) 期末： 45円 年間： - (78.3円) * (株式分割後)	中間：53円 期末：53円 年間：106円	中間：53円 期末：53円 年間：106円	中間：53円 期末：53円 年間：106円	-	-
為替	対ドルレート	112.33	120.00	135.00	135.00	-	-
	対ユーロレート	130.53	130.00	137.00	140.00	-	-
固定資産の取得 (設備投資)		2,913	3,000	3,000	3,000	87	3.0
減価償却費		1,770	2,000	2,100	2,100	330	18.6
研究開発費		1,653	1,900	1,800	1,800	148	8.9

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は、以下のページに後日掲載いたします。
https://www.tdk.com/ja/ir/ir_events/conference/2023/3q_1.html